

株式会社ブイ・テクノロジー
2022年3月期 第3四半期
決算補足説明資料

2022年2月10日

将来見通し等について

▶ 将来見通し

本資料に記載されている当社の計画、戦略、見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは現在入手可能な期待、見積、予想に基づいています。これらの期待、見積、予想は、経済情勢・市況の変化、競争環境の変化、顧客のある国の政策変化、係争中及び将来の訴訟の結果など多くの潜在的リスク、不確実な要素、過程の影響を受けますので、実際の業績は見通しから大きく異なる結果となる可能性があります。従って、これら将来予想に関する記述に全面的に依拠することは差し控えて頂きますようお願いいたします。また、当社は新しい情報、将来の出来事などに基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。

▶ 為替リスク

当社の主力製品である、フラットパネルディスプレイ製造装置の輸出版売は、原則円建てで行われております。一部に外貨建て決済もありますが必要に応じて受注時に為替予約を付し、為替変動リスクをヘッジしております。従って、装置販売に関する為替レート変動による影響は軽微であります。

▶ 数字の処理

記載された金額は、単位未満を切り捨て処理、比率は単位金額で処理した結果を四捨五入している為、内訳と一致しない場合があります。

▶ 会計方針の変更について

① 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を2022年3月期第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

② 時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を2022年3月期第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

▶ 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、量的基準より判断して、当社の報告セグメントは「FPD事業」のみとなるため、セグメント情報の記載を省略しておりましたが、2022年3月期第1四半期連結会計期間において、量的な重要性が増したため、報告セグメントを従来の単一セグメントから、「FPD事業」、「半導体事業」の2区分に変更し、報告セグメントに含まれない事業セグメントを「その他」としてセグメント情報を開示しております。なお、市場、顧客の種類及びサービスの内容が概ね類似している事業セグメントを集約しております。

2022年3月期Q3 ハイライト

1. 業績

▶ 受注好調、売上利益は概ね計画通りの進捗

- ▶ 受注：前年比65%増の42,962百万円、半導体事業、FPD事業共に好調
- ▶ 売上高・営業利益・経常利益：前年比を下回るが計画通りの進捗
- ▶ 四半期純利益：海外関連会社の完全子会社化等により前年比を上回る

2. 成長施策

▶ フォトマスク検査装置の製品ラインナップを拡充(2021年12月)

- ▶ 半導体、OLEDおよびディスプレイ用のフォトマスクに1台で対応できる、集束イオンビームを用いたフォトマスク欠陥修正装置「Draco(ドラコ)」を新たに開発、販売を開始
- ▶ 修正精度±25nm、40%の省スペース化を実現

▶ μLEDディスプレイ製造装置を出荷(2021年12月)

- ▶ μLED用として2システム目の出荷、レーザーリフトオフと転写ユニットで構成
- ▶ μLEDの転写率等、お客様から高い評価を獲得

▶ M&Aによる競争力の強化と事業の拡充(2022年1月)

- ▶ 株式会社アイテックの株式取得(完全子会社化)
- ▶ 装置用ソフトウェアの開発力の強化
- ▶ 農業事業での協働、他

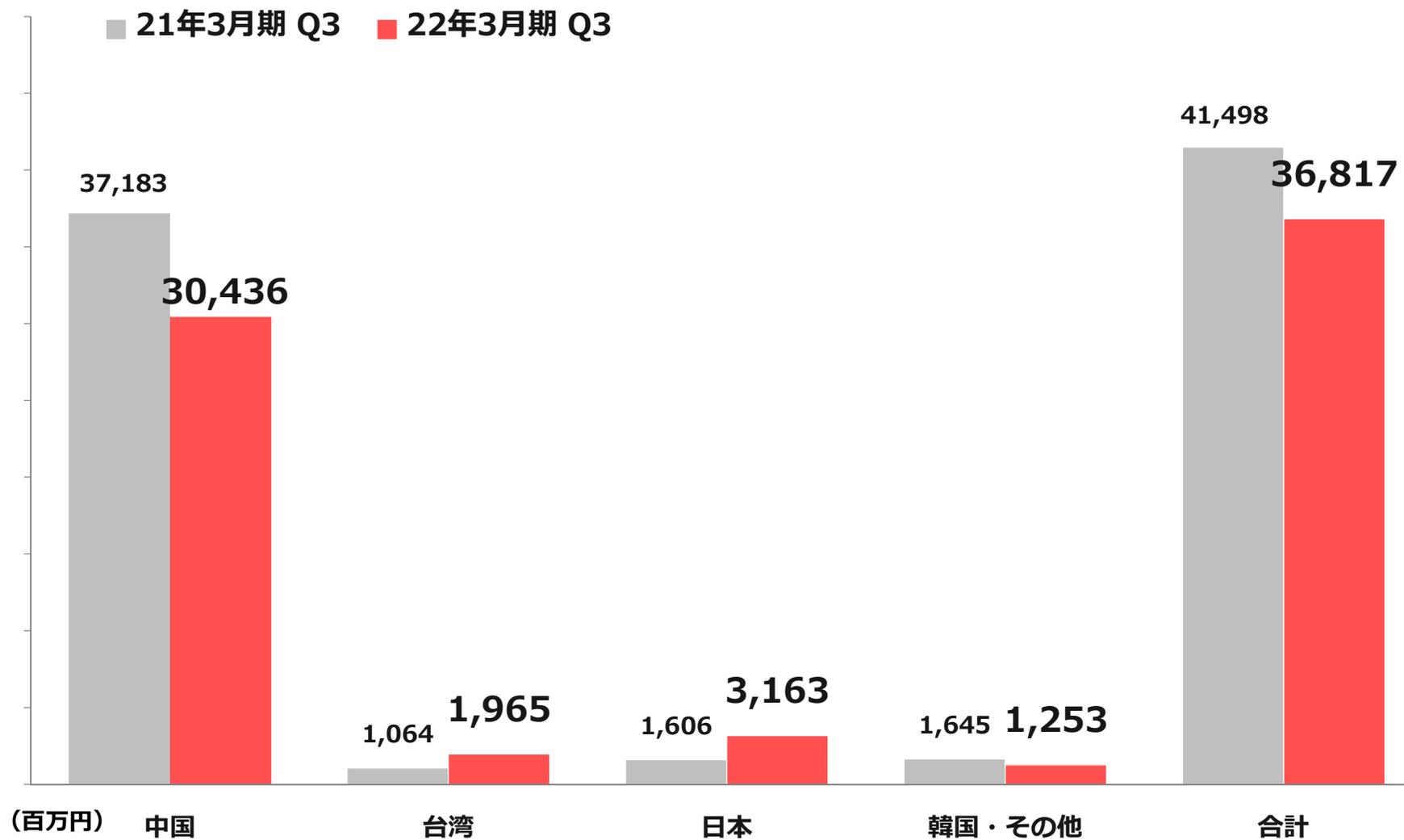
連結業績

(百万円)	2021年3月期Q3(9カ月)		2022年3月期Q3(9カ月)		
	金額	構成比	金額	構成比	前年比増減率
売上高	41,498	100.0%	36,817	100.0%	▲11.3%
売上総利益	11,646	28.1%	10,524	28.6%	▲9.6%
営業利益	4,992	12.0%	3,314	9.0%	▲33.6%
経常利益	4,832	11.6%	3,413	9.3%	▲29.4%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,492	6.0%	2,920	7.9%	+17.2%

連結業績(セグメント情報)

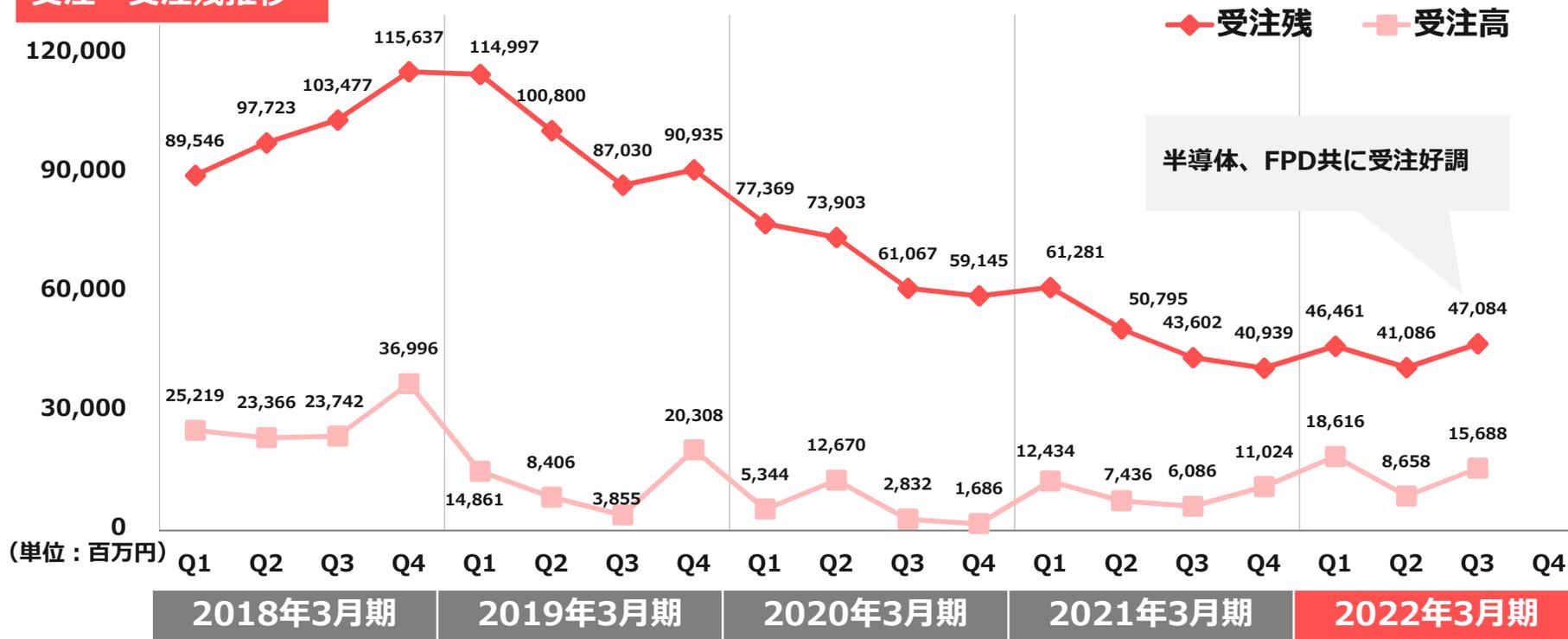
セグメント情報 (金額単位：百万円)		21年3月期Q3	2022年3月期Q3		
		金額	金額	前年比増減 (▲は減少)	セグメントについて補足
半導体 事業	売上高 (売上構成比)	1,441 (3.5%)	5,373 (14.6%)	+272.9%	<ul style="list-style-type: none"> NSS、Lithotec Japan(LTJ)、OHT及びVテクの半導体およびPCB事業等で構成 子会社販売が寄与し売上伸長 プロダクトミックス変化等が利益に影響
	営業利益	66	337	+410.6%	
	利益率	4.6%	6.3%	+1.7%	
FPD 事業	売上高 (売上構成比)	40,055 (96.5%)	31,338 (85.1%)	▲21.8%	<ul style="list-style-type: none"> Vテク、OHTのFPD装置事業、蒸着マスク事業(VET)、サルベージ(VSC社)等で構成 中国の販売が弱く前年比で減収も、Q4回復見込み 売上減等の影響で前年比で減益も、Q4回復見込み
	営業利益	5,047	3,045	▲39.7%	
	利益率	12.6%	9.7%	▲2.9%	
その他	売上高	2	106	—	<ul style="list-style-type: none"> 有機EL照明事業(Lumiotec)等で構成
	営業損失	▲120	▲68	—	
	利益率	—	—	—	
連結損益 計算書 計上額	売上高 (売上構成比)	41,498 (100.0%)	36,817 (100.0%)	▲11.3%	—
	営業利益	4,992	3,314	▲33.6%	
	利益率	12.0%	9.0%	▲3.0%	

(参考) 地域別連結売上高



連結受注残・四半期連結受注高の推移

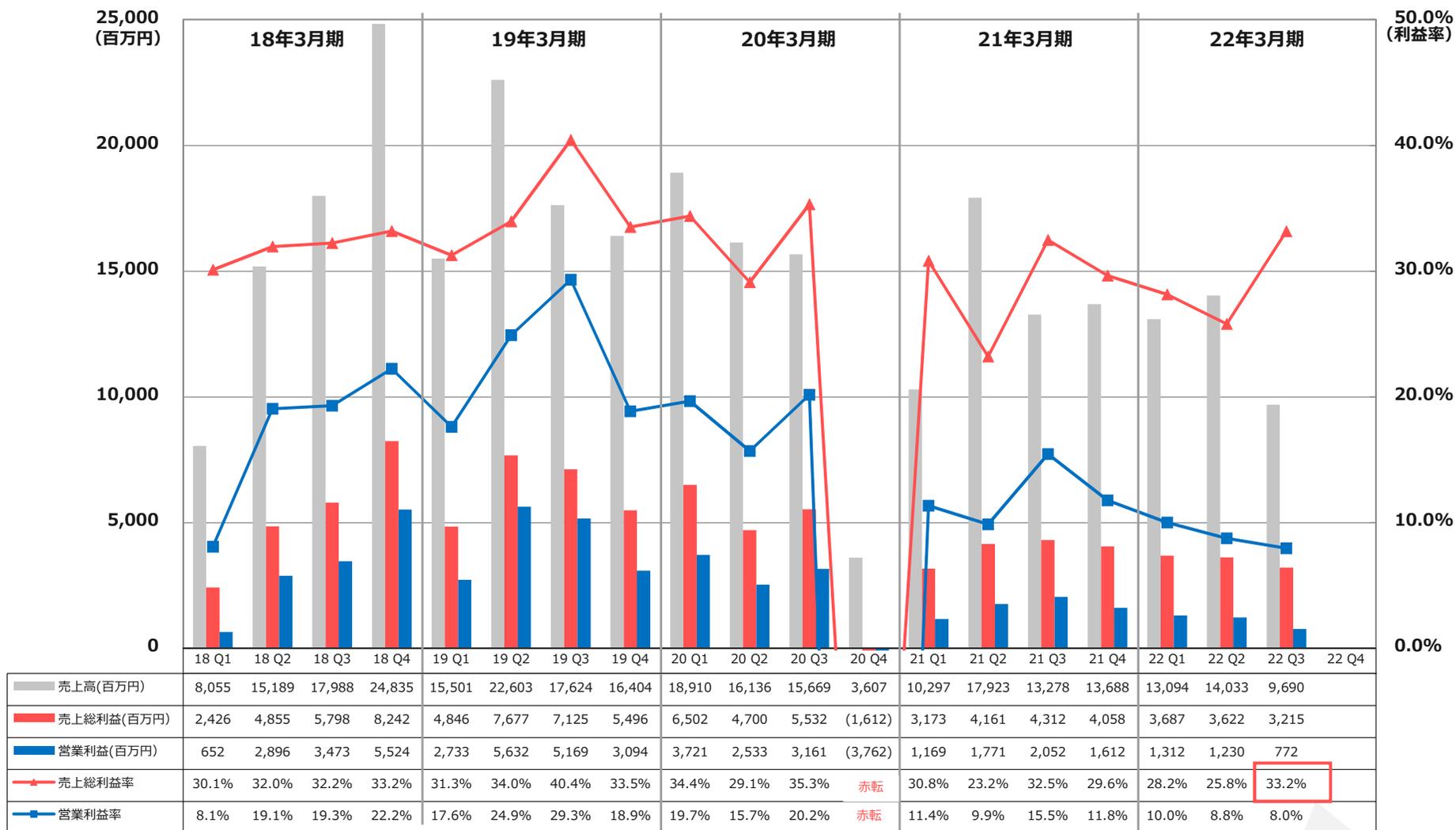
受注・受注残推移



セグメント別受注/受注残 (単位:百万円)

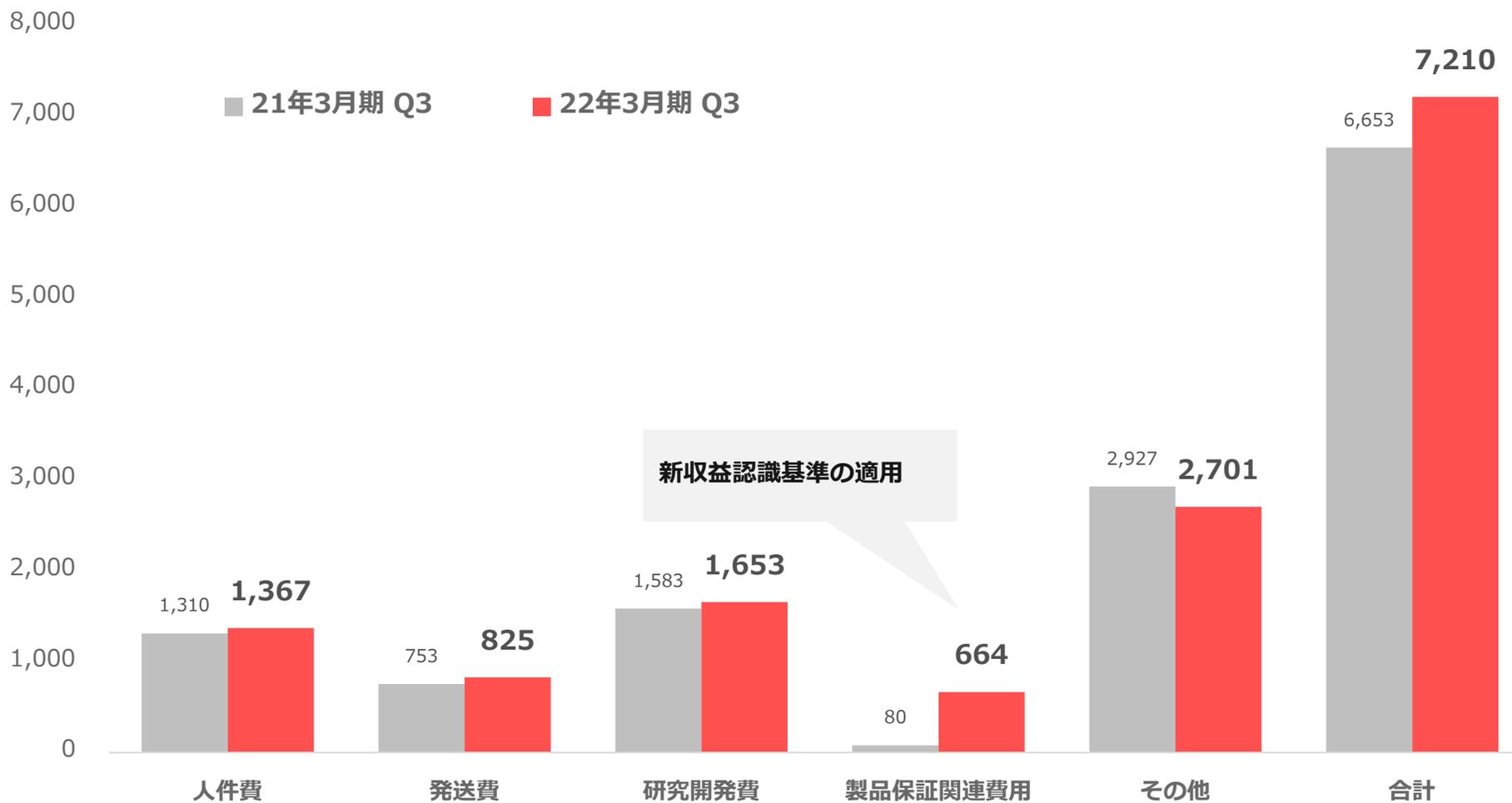
	受注高		受注残高	
	2021年3月期Q3	2022年3月期Q3	2021年3月期Q3	2022年3月期Q3
FPD	23,461	37,799	40,403	41,964
半導体	2,492	5,056	3,199	5,119

四半期毎連結売上高・利益の推移



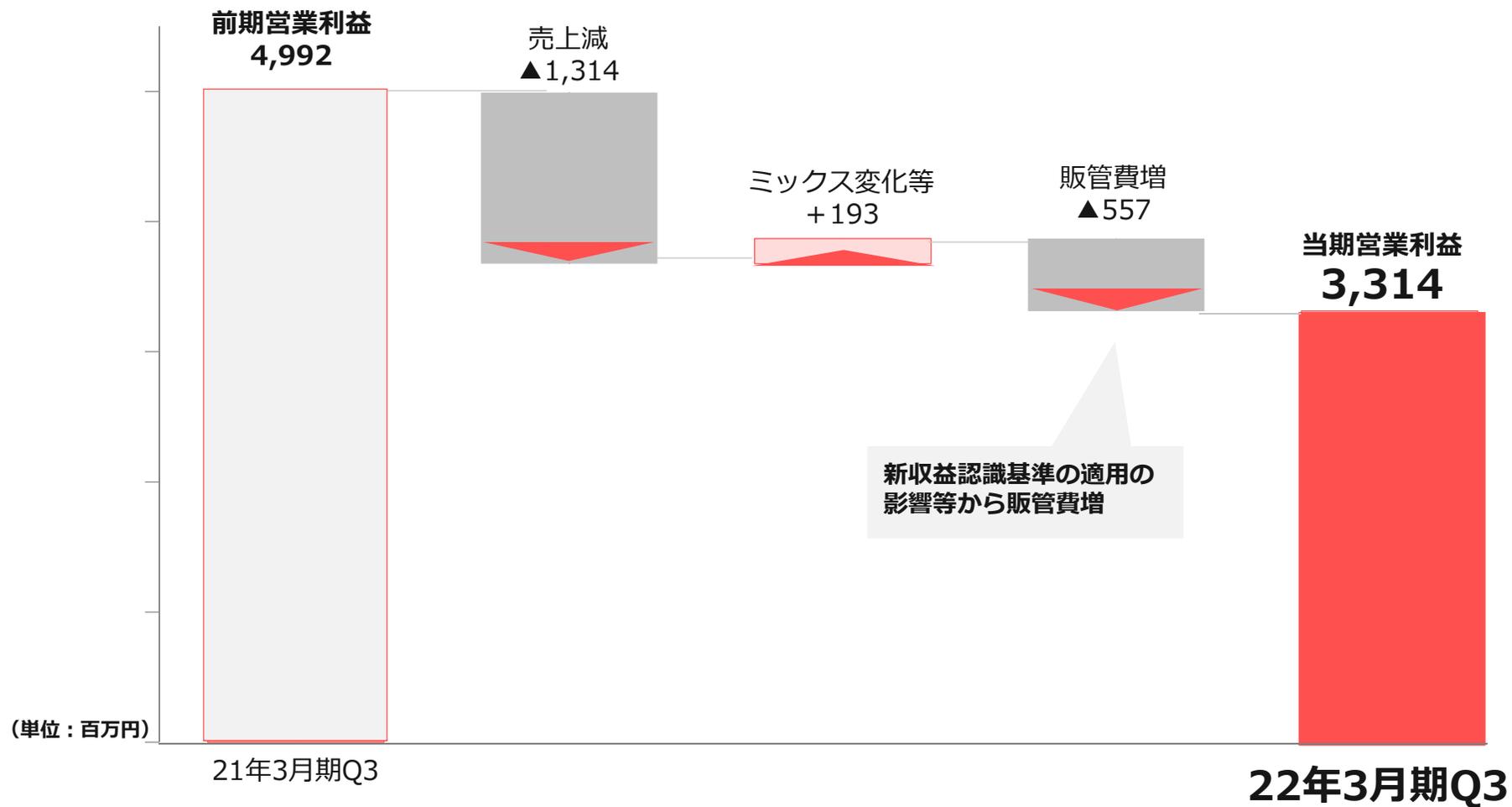
プロダクトミックス
変化等の影響

販売費及び一般管理費



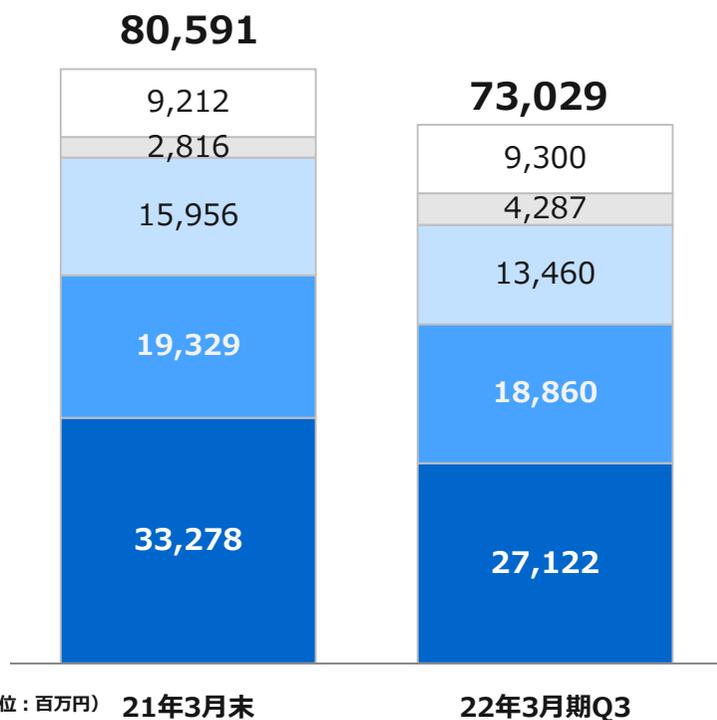
(単位：百万円)

(参考) 連結営業利益の差異分析



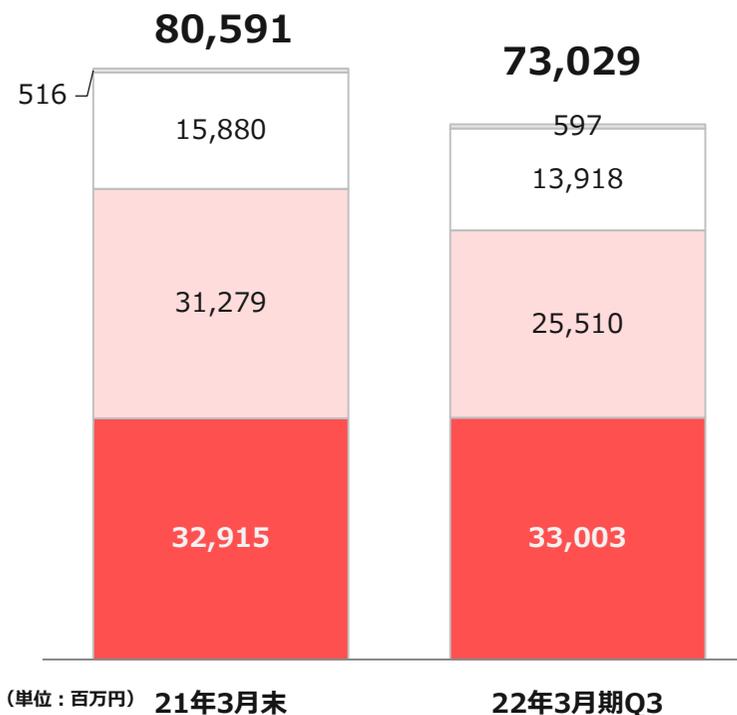
連結貸借対照表の推移

総資産



- 現金及び預金
- 受取手形及び売掛金
- 棚卸資産
- その他流動資産
- 固定資産

負債・純資産



- 純資産
- 借入金（短期・長期）
- その他流動負債
- その他固定負債

| 業績予想

2022年3月期の業績および配当予想

▶ 2021年11月8日公表の業績予想からの修正無し

連結業績予想	21年3月期(実績)		22年3月期予想		前期比 増減率
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	55,186	—	53,000	—	▲4.0%
営業利益	6,604	12.0%	5,000	9.4%	▲24.3%
経常利益	6,836	12.4%	4,900	9.2%	▲28.3%
親会社株主に 帰属する当期純利益	3,513	6.4%	3,750	7.1%	+6.7%
EPS	363.41円		387.82円		—

配当の状況	21年3月期(実績)	22年3月期
中間	60円	60円(実績)
期末	60円	60円(予想)
中間+期末	120円	120円(予想)



V-TECHNOLOGY